

# 国営備北丘陵公園管理運営プログラム

令和3年6月

国土交通省 中国地方整備局

## 目 次

### 1. 全体計画及び開園状況

- (1) 全体計画 . . . . . 1
- (2) 基本テーマ . . . . . 1
- (3) 供用の経緯 . . . . . 2
- (4) 園内のエリアの概要と主な施設 . . . . . 4
- (5) 利用状況 . . . . . 7
- (6) スtock効果 . . . . . 11

### 2. 令和7年度までの管理運営方針

- (1) 重点事項 . . . . . 15
- (2) 管理運営方針 . . . . . 16

### 3. 事業効果 . . . . . 22

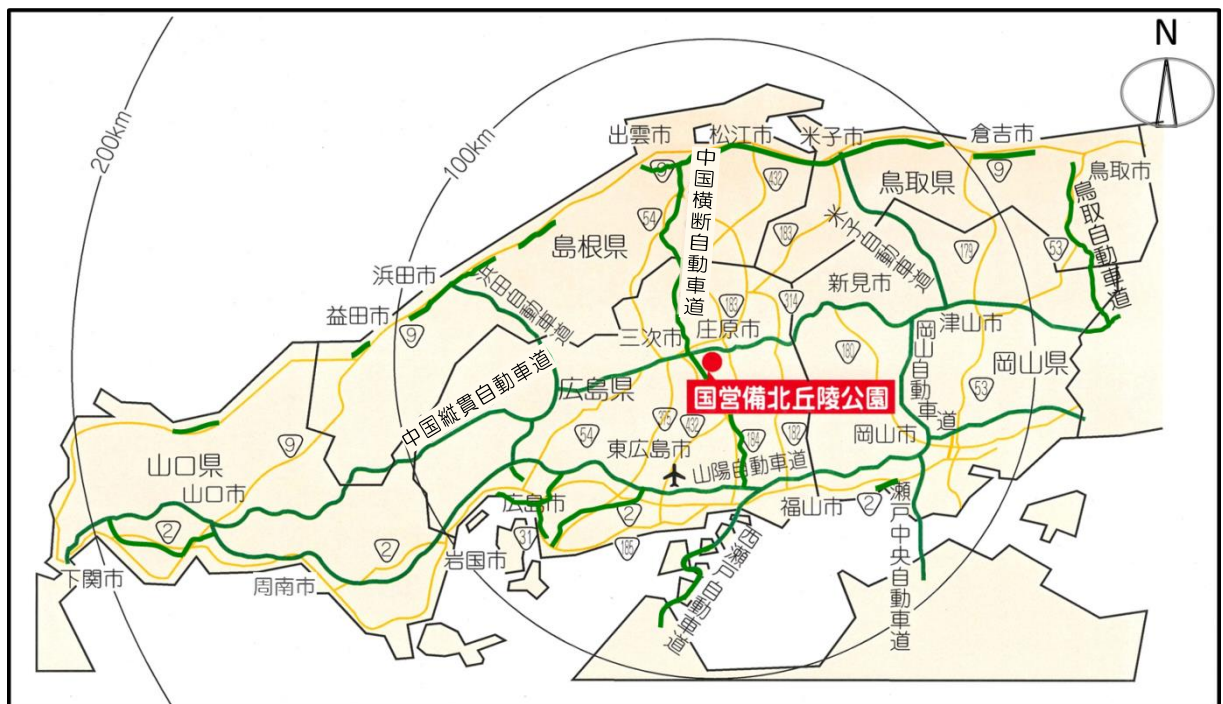
## 1. 全体計画及び開園状況

### (1) 全体計画

本公園は、中国地方のほぼ中央部の広島県庄原市に位置し、県内最大のため池である国兼池と緑豊かな丘陵地を有する全国で 11 番目、中国地方では初めての国営公園（全体面積約 340ha）として、昭和 57 年度に事業を開始しました。

本公園の周辺には「七塚原高原」や「みよし風土記の丘」、さらには「帝釈峡」などの文化・教養・観光施設があり、広域的なレクリエーションに適した場所に位置しています。また中国縦貫自動車道、中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）を軸とした高速道路網により各主要都市圏とも結ばれています。

【位置図】



### (2) 基本テーマ

備北地方のたおやかな景観と風土を生かし、「ふるさと・遊び」を基本テーマに、周辺環境との調和と連携を図り、森と湖に囲まれた緑豊かな自然の中で、地域の歴史・伝統文化とのふれあいや多様なレクリエーション活動を通じて、人間性の回復と向上の場となる公園を目指し、以下の通り公園整備の基本理念を定めています。

#### 【基本テーマ】ふるさと・遊び

#### 【基本理念】

- ① 緑豊かな自然へのいざない
- ② 中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ③ 多様なレクリエーションへのしたしみ
- ④ 周辺環境とのつながり

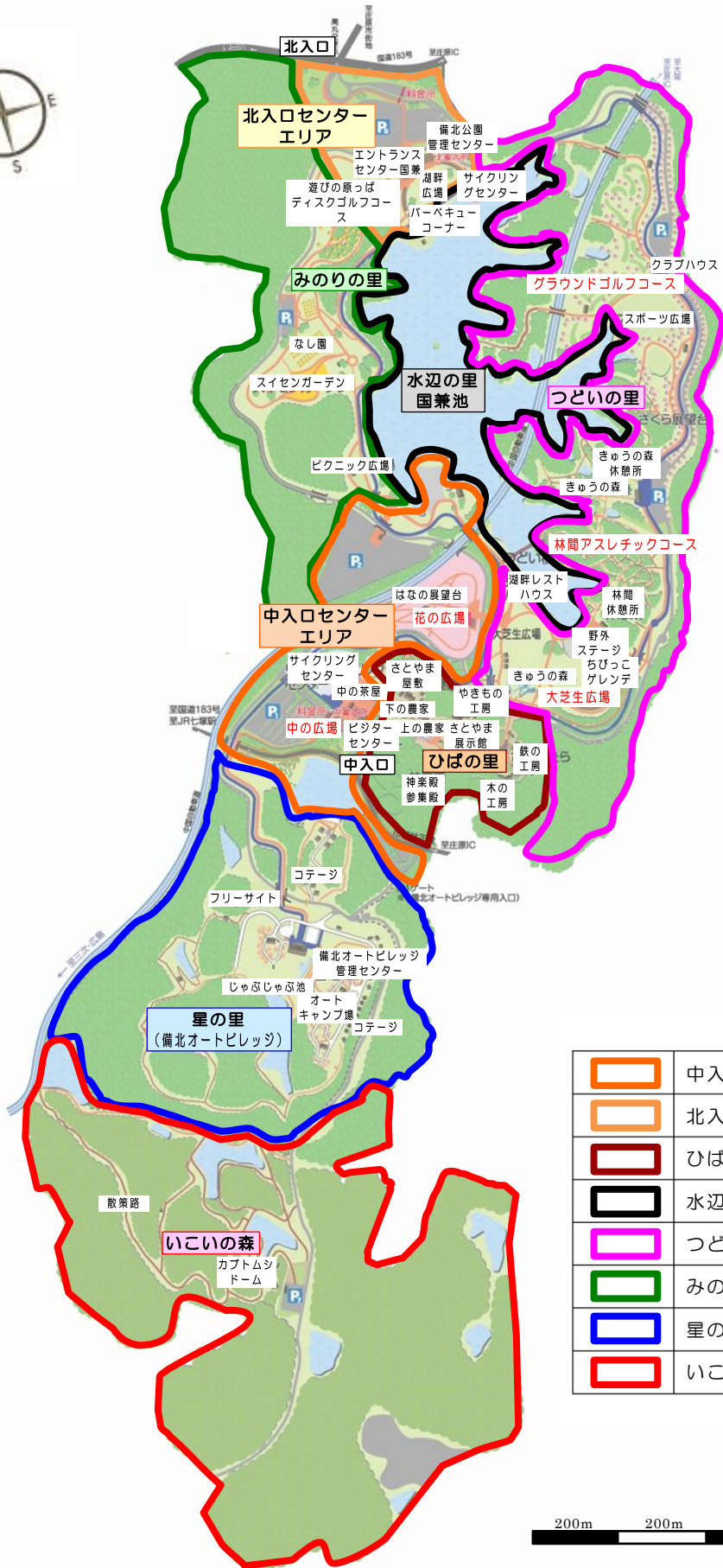


### (3) 供用の経緯

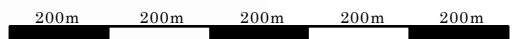
本公園は、昭和 57 年度に事業着手し、平成 7 年 4 月に「中入口センターエリア」および「ひばの里」80ha を第 1 期開園しました。その後、平成 11 年に「星の里（備北オートビレッジ）」46.5ha、平成 14 年に第二駐車場 3.2ha、平成 15 年に「つどいの里」49.1ha、平成 20 年 4 月に「北入口センターエリア」および「みのりの里」計 43.3ha を追加開園してきました。

平成 24 年 4 月には「いこいの森」109.3ha の追加開園を行い全園開園となりました。

年月日	内容
昭 和	
57・ 4・ 1	事業化
60・ 1・31	都市計画決定告示
60・11・ 7	都市計画事業計画の承認告示（第 1 期事業区域 129ha）
63・ 8・ 9	都市計画事業の事業計画の変更承認告示（第 1 期事業区域 170ha）
平 成	
5・ 3・19	都市計画事業の事業計画の変更承認告示（全体事業区域 340ha）
7・ 4・14	中入口センターエリア・ひばの里・水辺の里国兼池等供用開始（80ha）
11・ 6・26	星の里（備北オートビレッジ）供用開始（46.5ha）
14・ 7・ 1	第二駐車場供用開始（3.2ha）
15・ 4・ 1	つどいの里（グランドゴルフコース等）供用開始（49.1ha）
20・ 4・26	北入口センターエリア・みのりの里供用開始（43.3ha）
22・ 4・ 1	みのりの里残整備区域供用開始（7.4ha）
24・ 4・ 1	いこいの森供用開始（109.3ha）【全園開園】



	中入口センターエリア
	北入口センターエリア
	ひばの里
	水辺の里国兼池
	つどいの里
	みのりの里
	星の里 (備北オートビレッジ)
	いこいの森



#### (4) 園内のエリアの概要と主な施設

本公園は、6つのエリアと2つのセンターエリアで区分されており、各エリアには、四季折々の花を楽しむことができる「花の広場」、8haの広大な面積を有する「大芝生広場」、週末には多くの子どもでにぎわう「大型複合遊具“きゅうの丘”」、「空想冒険遊具“きゅうの森”」、「林間アスレチックコース」等の遊戯施設、多くの利用者でにぎわう「グラウンドゴルフコース」等、子どもから大人まで楽しめる多数の施設が整備されています。

##### 【園内の主な施設】

エリア名称	エリアコンセプト	エリア概要	施設名称
中入口センターエリア	本公園の入口として公園利用の案内、飲食、物販等の機能を配置するエリア。	「ビジターセンター」は、明治時代庄原にあった英学校を模してつくられ、様々な情報を案内。春・秋には、花々で埋めつくされる「花の広場」は、色鮮やかな夢の空間。	ビジターセンター、中の茶屋、棚田、花の広場、サイクリングセンター、バーベキューハウス
北入口センターエリア	北入口の物販、飲食機能をあわせ持った利用者サービス、情報発信の中核となるエリア。	「エントランスセンター国兼」では、様々な情報、地場食材を使った料理、交流の場等を提供。国兼池の景色が広がる「湖畔広場」はピクニックに最適。	エントランスセンター国兼、ドッグラン、湖畔広場、サイクリングセンター
ひばの里	公園の中心施設として、中国山地の暮らしと懐かしいふるさとを体験できるエリア。	再現された農家、陶芸や竹細工・木工を体験できる工房、中国地方の伝統芸能が演じられる神楽殿などがある。	さとやま屋敷、神楽殿、参集殿、さとやま展示館、上の農家、下の農家、やきもの工房、木の工房、鉄の工房
水辺の里国兼池	県内最大のため池で、地域の農業用水源となり、利用者に安らぎを与える水辺空間としてのエリア。	国兼池ではカヌー体験のほか、野鳥の観察、スポーツフィッシングを楽しむことができる。	国兼池
つどいの里	林間のスポーツ・レクリエーションやイベント、遊びの場として人々が集うエリア。	本格的な「グラウンドゴルフコース」、広大な芝生広場、「ちびっ子ゲレンデ」、大型複合遊具などがある。	グラウンドゴルフコース、林間アスレチックコース、きゅうの森、大芝生広場、きゅうの丘

エリア名称	エリアコンセプト	エリア概要	施設名称
みのりの里	季節を彩る花や果実の景観を楽しめるエリア。	スイセンガーデンには150万本のスイセンが咲き広がる。	スイセンガーデン、なし園
星の里（備北オートビレッジ）	野外活動や野外宿泊利用の拠点だけでなく、一般宿泊利用者も滞在できるエリア。	日本オートキャンプ協会（JAC）より、五つ星を認定されたキャンプ場。	オートキャンプ場、コテージ、じゃぶじゃぶ池
いこいの森	起伏に富み、自然環境保全の観点から豊かな自然を残したエリア。	自然とふれあい、自然に親しみ、自然を学ぶことができる。	カプトムシドーム、散策路
園内全体	自然を活かしながら多数の施設を配置。	サイクリングコースは、自転車で園内をぐるっと一周できる。	サイクリングコース



中入口セクターエリア 花の広場



北入口セクターエリア エントランスセンター国兼



ひばの里 農家



水辺の里国兼池 カヌー体験





つどいの里 きゅうの森



みのりの里 スイセンガーデン



星の里 オートキャンプ場



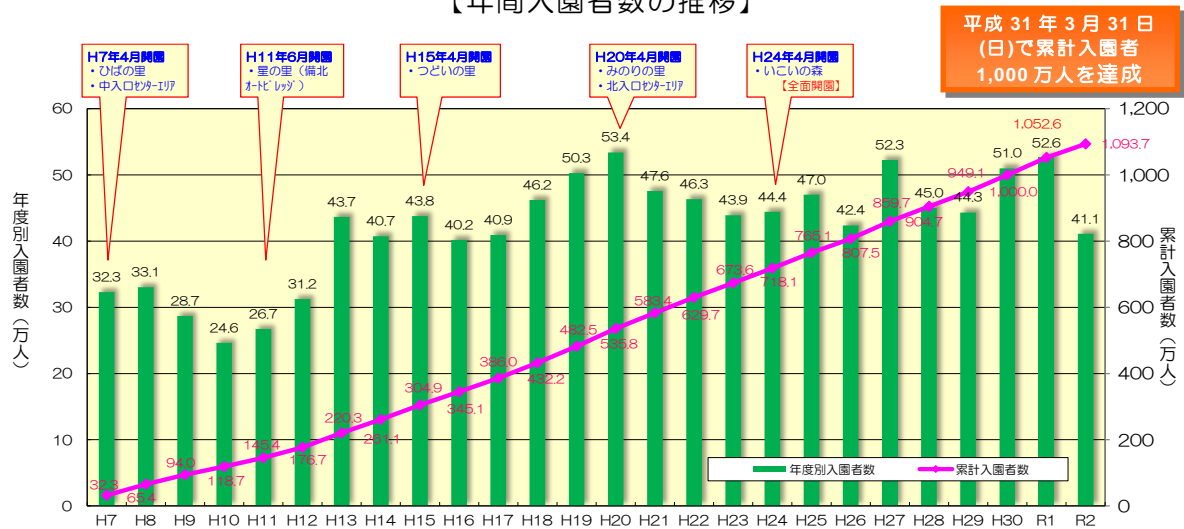
いこいの森 カブトムシドーム



### (5) 利用状況

開園当時である平成7年度の入園者数は年間約32万人でしたが、その後の追加開園や季節に応じた主要イベントの開催等により、令和元年度には約52.6万人の方に利用していただき、平成30年度末で累計入園者数が1,000万人に達するなど、中国地方におけるレクリエーション施設として、また観光拠点のひとつとして多くの方にご利用いただいています。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策のための臨時休園の影響もあり、約41万人の利用にとどまっています。

【年間入園者数の推移】



春まつり「備北花ピクニック」



夏まつり「備北夏まつり」



秋まつり「備北コスモスピクニック」

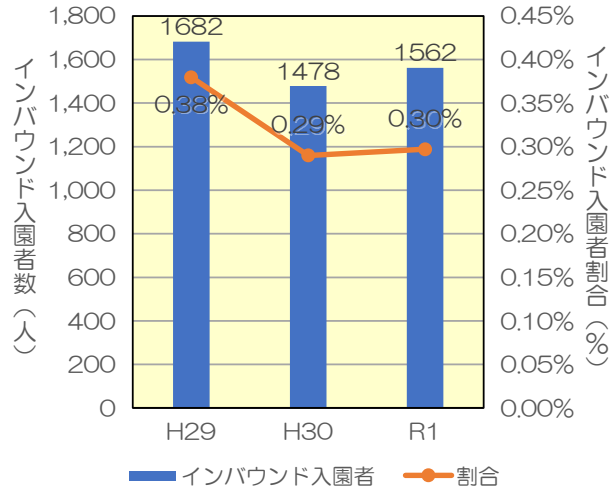


ウィンターイルミネーション「備北イルミ」

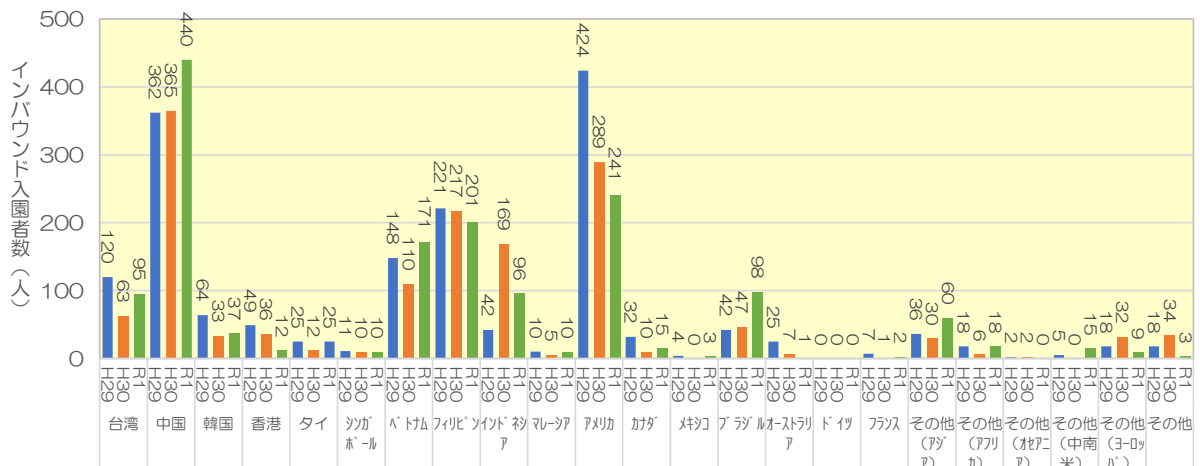
【季節に応じた主要イベント】

インバウンド入園者数は、年間約 1,500 人前後となっています。なお、その内訳は中国（令和元年度は約 28%）、アメリカ（約 15%）からの入園者が多くなっています。

【インバウンドの年間入園者数と入園者割合の推移】



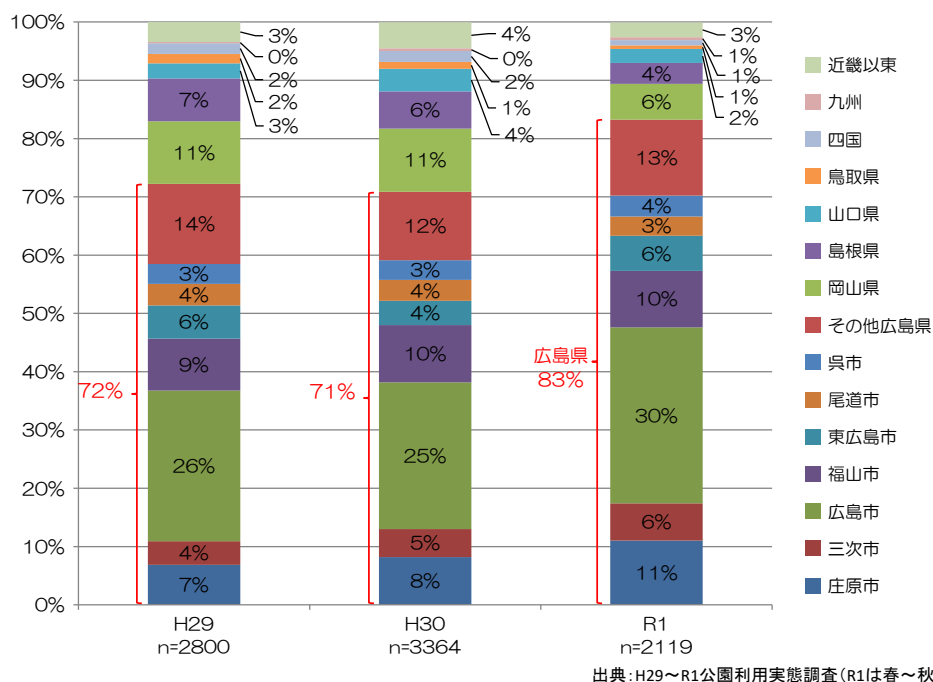
【国別インバウンド入園者数の推移】



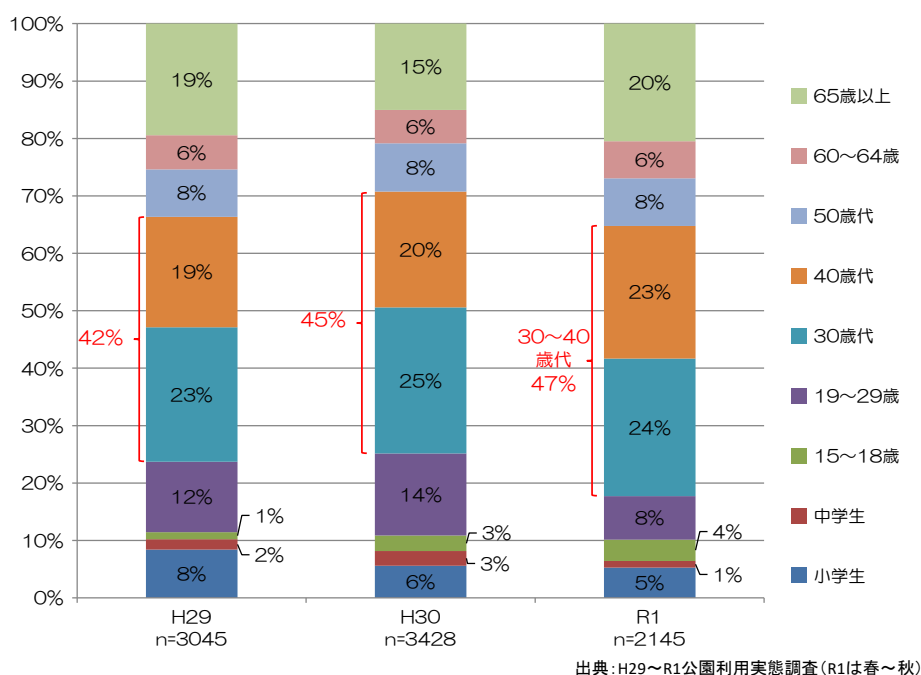
入園者は、広島県内からの利用が約7割以上を占めています。広島県内で最も多いのは広島市からの利用で、約3割程度となっています。地元に近い庄原市や三次市からの利用は、1割前後です。近隣県では、岡山県や島根県からの利用が多くなっています。

入園者の年齢層は、30～40歳代の子育て世代が約4割を占めています。入園者の9割以上が自家用車で来園されており、8割前後がリピーターの利用となっています。

【入園者の居住地別の割合（経年変化）】

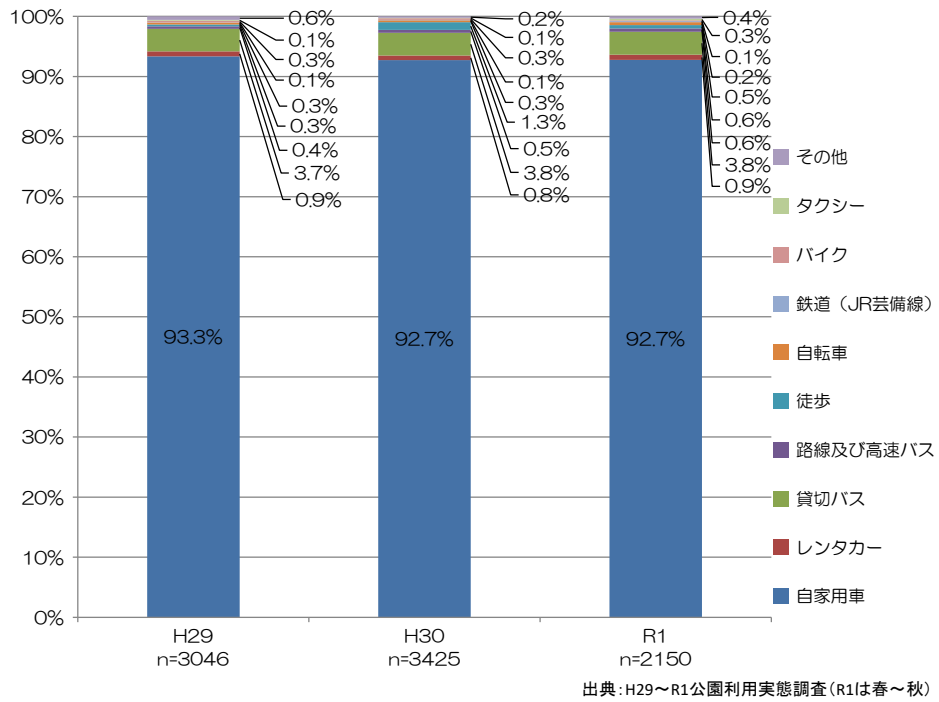


【入園者の年齢別の割合（経年変化）】

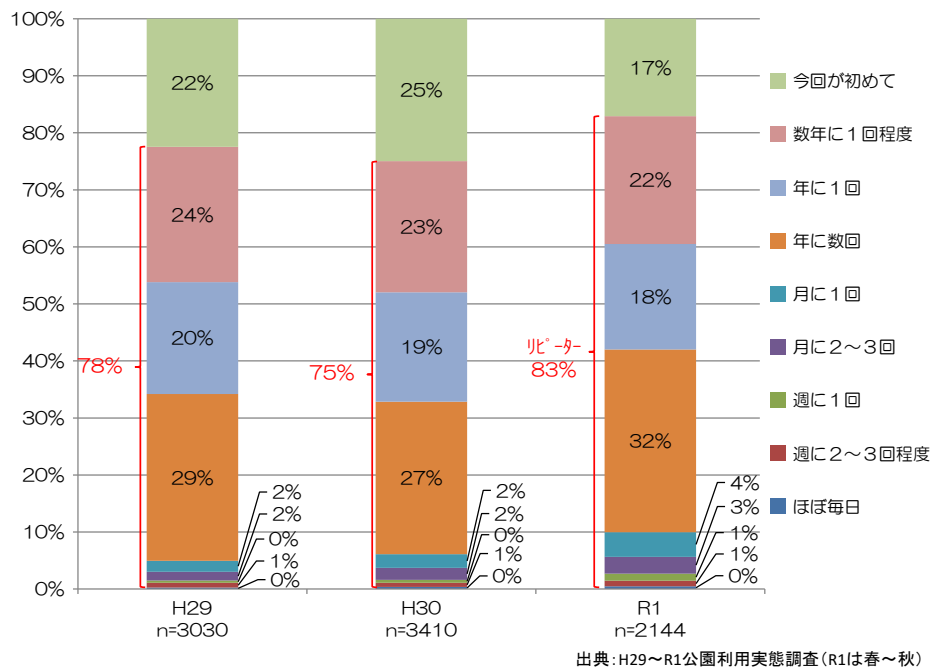




【入園者の利用交通機関別の割合（経年変化）】



【入園者の来園頻度別の割合（経年変化）】



## (6) ストック効果

### 1) 自然環境保全

本公園は、地域の里山環境や、県内最大のため池である国兼池の景観を活かした計画・整備を行ってきています。環境省では、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境として位置付けて「生物多様性保全上重要な里地里山」(2015.12)を選定していますが、本公園もこの1つに挙げられています。

さらに、園内で平成10年に生息が確認された国蝶オオムラサキ(準絶滅危惧種)の保全、中国地方の里山を象徴するササユリの群生復原、県立広島大学と連携した貴重植物ヒゴタイ(絶滅危惧Ⅱ類)の保全、中国横断自動車道尾道松江線整備時に確認された貴重植物エヒメアヤメ(絶滅危惧Ⅱ類)の移植など、豊かな自然環境を生かした希少植物の生育場の提供、保全を行っています。



【公園内で成虫となったオオムラサキ】



【エヒメアヤメの保全】

### 2) 歴史文化の保全活用

本公園では、100年前の農村景観や農作業を再現したエリアを整備し、昔の生活を再現した空間を提供しています。また、日本古来の製鉄法である「たたら製鉄」や、「田植え体験」、「稲刈り体験」、「わら細工体験」など、地域で行われている年中行事を入園者に参加していただけるように一年を通して体験プログラムとして提供し、地域の文化の保存・伝承を行っています。



【鉄づくり体験の様子】



【わら細工体験の様子】

### 3) 観光振興

本公園は、野外ライブ、花火大会、スポーツ大会など、中国地方を代表する大規模イベントから地域に密着したイベントまで多数のイベントの開催場所となっています。

また、冬季にはイルミネーションを開催し、インターネットや雑誌の人気ランキングで高い評価を得ており、毎年非常に多くの入園者でにぎわっています。

豊かな自然環境、多様なレクリエーション、質の高いサービスの提供等によって、毎年多くの方に来園していただき、地域観光にも大きく貢献しています。



【野外ライブの様子】



【花火大会の様子】

広島県観光客数の動向（平成 31（令和元）年1～12月）によると、県内観光客数は67,194千人のうち、「県内主要・有料観光施設」をみると本公園は県内第3位となっています。また3年間の順位の推移をみると、平成29年の7位から平成30年に3位へと、大きく飛躍しています。

また、広島県観光統計調査（平成31（令和元）年1～12月）によると、庄原市の観光客数2,561千人のうち、本公園で約2割を占めており、県内市内の観光に大きく寄与しています。

【県内主要・有料観光施設の利用状況】

市町	観光施設名	観光客数（人）					
		H29		H30		H31（R1）	
		人数	順位	人数	順位	人数	順位
広島県合計		69,894千人		65,041千人		67,194千人	
広島市	平和記念資料館	1,694,233	1	1,525,848	1	1,863,730	1
呉市	呉市海事歴史科学館大和ミュージアム	948,613	2	684,494	2	977,872	2
庄原市	国営備北丘陵公園	435,455	7	509,184	3	523,610	3
尾道市	千光寺山ロープウェイ	484,641	3	430,985	7	513,324	4
廿日市市	宮島水族館	474,310	5	432,684	6	475,637	5
広島市	広島市安佐動物公園	481,991	4	457,143	4	473,008	6
広島市	広島市こども文化科学館	417,402	8	369,325	8	391,267	7
広島市	広島城	442,233	6	304,908	10	356,845	8
広島市	広島県縮景園	279,640	11	306,015	9	334,216	9

※「広島県観光の動向」より



【市内主要観光地の利用状況（市内観光客を含む）】

地区	観光地名	観光客数（人）			庄原市内における割合
		H29	H30	H31（R1）	
庄原市合計		2,632,983	2,614,370	2,560,840	100.0%
旧庄原	国営備北丘陵公園	435,455	509,184	523,610	20.4%
高野	道の駅たかの	387,671	368,245	406,137	15.9%
旧庄原	食彩館しょうばらゆめさくら	221,315	207,493	206,631	8.1%
東城	帝釈峡	166,748	159,291	150,052	5.9%

※「広島県観光統計調査」より

4) 防災性向上

本公園は、庄原市地域防災計画において指定緊急避難場所として指定されています。

また、庄原市、市消防団、消防署、警察署、地元住民等が合同で実施する庄原市総合防災訓練や避難訓練の場として使用されるなど、地域の防災性向上に寄与しています。



【庄原市総合防災訓練の様子】



【避難訓練の様子】

5) ボランティアの育成

本公園では、地域と入園者のふれあいの場を提供し、地域住民が参画する機会を創出することで、地域文化の継承や園内ガイド等を担うボランティアの育成に寄与しています。



【地域の子ども達と一緒に森の手入れ】



【ボランティアによる水鳥観察会】

## 6) 健康増進

本公園は、グラウンドゴルフやサイクリングをはじめ、散歩や散策、フライングディスクゴルフ、軽スポーツ、ドッグランなどの場として活用され、地域住民をはじめとする入園者の健康増進に寄与しています。

平成 31（令和元）年度の年間パスポートの購入者をみると、庄原市や三次市の地域住民や、高齢者の方を中心に高頻度で公園を利用されています。

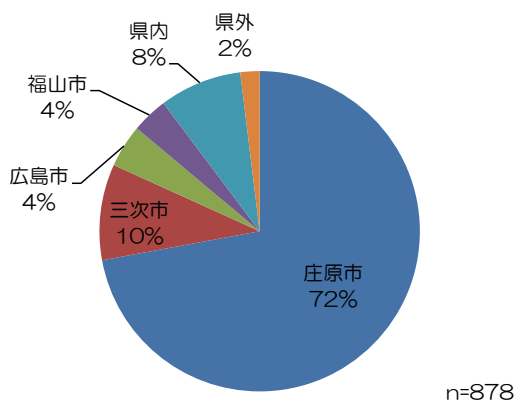


【日本グラウンド・ゴルフ協会に  
認定されたコース】



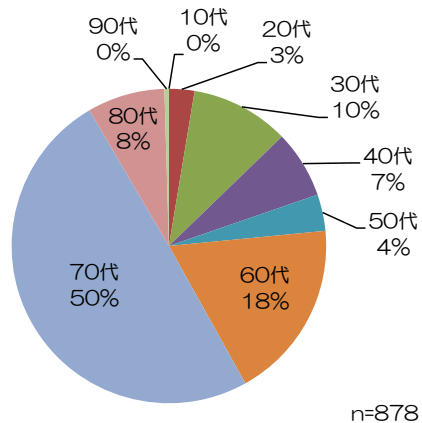
【国兼池沿いのサイクリングコースと  
国兼池フィッシングエリア】

【年間パスポート居住地別購入者】



※平成31（令和元）年度年間パスポート購入者

【年間パスポート年齢別購入者】



※平成31（令和元）年度年間パスポート購入者

## 2. 令和7年度までの管理運営方針

### (1) 重点事項

令和7年度までは、本公園の基本理念を踏まえ、豊かな里山の有する歴史文化、自然を活用し、以下を重点事項として管理運営を推進します。

#### 1) 中国地方の歴史文化の保存・継承及び自然環境の保存・活用を図るため、体験学習の場の提供と体験プログラムの充実を図ります。

本公園ではこれまでに、里山のくらしを中心とした歴史・伝統文化の紹介や、多様な生態系を育む里山の自然環境の保全に関するプログラムを展開してきました。今後歴史文化や自然環境を未来へつないでいくために、新たな体験メニューの開発などにより、機会とプログラムの充実を図ります。

#### 2) 公園及び周辺地域の活性化を目指し、観光等の関係団体との連携・協議体制の強化を図ります。

北入口センターエリアでは、社会実験として無料化を試行中であり、庄原市と連携した地域の情報発信や、地域と入園者との交流人口の拡大による地域の活性化に取り組んでいます。今後、公園内の他エリアや公園周辺の諸施設との連携も強化するため、庄原観光推進機構（以下「庄原 DMO」という。）等の関連団体との密な連携を図るとともに、その他の民間企業との協力体制の構築も図ります。

#### 3) 協働による公園管理を通じた地域の担い手の育成を図ります。

本公園における花壇づくりや、散策・観察会のガイド役など、地元住民によるボランティア活動によって公園づくりが支えられてきました。今後は公園づくりだけでなく地域づくりも支援するため、参加型の公園管理を継続して行くことで、地域の担い手づくりにもつなげます。

#### 4) 誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを進めます。

本公園は、本計画期間末の令和7年には開園30周年を迎えます。施設の老朽化が進む中、長寿命化や集約化を検討し利用者の安心・安全を確保します。さらに、新型コロナ危機を受け、緑とオープンスペースに対する国民ニーズの高まりも踏まえて、公園利用者の満足度の向上、国営公園として果たすべき役割・機能の一層の強化に取り組めます。



## (2) 管理運営方針

管理運営の実施にあたっては、以下に示す方針の下、引き続きサービス向上を図りながら、利用者の安全確保、コストの縮減に努めます。

周辺地域の多様な団体及び施設等と連携して、公園の持つ自然環境と四季折々に展開する花や緑の演出の他、中国地方に伝わる歴史文化の保存・継承を行うためのプログラムを利用者に提供します。また、誰もが安全安心で快適に過ごしていただける空間創りを行うとともに、広域観光推進のため、周辺地域の魅力を積極的に発信します。

### 1) -1 中国地方の歴史・伝統文化の保存、継承のための取組をひばの里で展開

○里山環境ではぐくまれた歴史・伝統文化の保存、継承の取組を継続

- ・中国地方の歴史・伝統文化を紹介するためのプログラムを地元関連団体と引き続き連携し、年間を通じて企画開催します。
- ・地域で保存、継承されている民俗芸能を紹介するためのプログラムを関連団体と引き続き協力し、年間を通じて企画開催します。(神楽公演、田楽公演、写真展他)
- ・ひばの里の施設、農地、山林を活用し、衣・食・住の各テーマに沿った里山の暮らしを、手仕事や農作業、食づくり、催事、おもてなし、遊び等の実演プログラムとして、引き続き年間を通じて紹介します。



【国選定技術者・ボランティア等の協力による「古代たたら鉄づくり体験」】



【地元保育所等の体験プログラム】

### 1) -2 多様な主体と連携した自然環境保全・活用と循環型社会の構築の推進

○園内に生息する希少な動植物の保護育成と環境教育プログラムの継続

- ・国蝶であるオオムラサキをはじめ、多様な動植物が生息・生育できるような自然環境の保全、復元を進めるとともに、地元小学校等に対して課外授業の学習の場を提供し、環境保全に対する関心を高める取組を継続します。
- ・公園内で発生したせん定枝や除草した草をチップ化、堆肥化して再利用する取組を引き続き行い、循環型社会の構築に貢献します。



【地元小学校と協働で整備した  
ビオトープでの生物調査】



【オオムラサキの保護・繁殖の取組】

## 2) 周辺地域と連携した広域観光の推進で地域活性化に貢献

### ○連携した効果的な広報を実施し、広域観光の取組を強化

- 庄原 DMO をはじめとする地元観光団体や、中国横断道（中国やまなみ街道）沿線施設などの周辺観光・宿泊施設等と連携し、効果的な広報に取り組みるとともに、備北丘陵公園を核とした体験型プログラムやツアーの開発など、マイクロツーリズムも含めた広域観光連携の一層の強化に取り組みます。
- インバウンド需要を取り込むため、引き続き地域と連携して海外に向けた PR 活動を積極的に推進し、地域観光振興に貢献します。
- 庄原市、庄原 DMO、地元団体、NPO 団体や民間企業など、地域との連携による交流イベントの開催等により、引き続き地域の活性化に貢献します。
- 全国で初めて、県内全ての自治体が主催者となり開催された「第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア」では、備北丘陵公園も共催会場とされました。これらのフェアに関わった団体や市町との連携・協力を継続し、より一層の豊かな地域づくりに努めます。
- 社会実験として無料化を試行中の北入口センターエリア周辺において、庄原市と連携した地域の情報発信や地域と入園者との交流人口の拡大による地域の活性化の支援を強化します。
- 更なる魅力向上を図るために、Park-PFI 制度を活用する等、民間活力の導入を新たに検討します。（北入口エリアへのカフェや遊び場等の整備、備北オートビレッジの宿泊施設の充実、等）



【庄原市との共催による地域交流イベント  
「さとやま夢まつり」】



【庄原市との共催による地域交流イベント  
「こどもまつり」】



### 3) 公園管理を通じた協働活動により地域の担い手を養成

○地域住民や公園利用者等との協働による公園管理を継続

- ・地元住民との協働による花壇づくり、いこいの森散策ガイドボランティアなど、多様な主体が公園づくりに参加できる取組を充実することで、参加型の公園管理の仕組みづくりを引き続き進めるとともに、地域づくりに主体的に取り組む担い手の養成に貢献します。



【ガイドボランティアによる自然観察会】



【ボランティアによる花壇づくり】

### 4) 安全で安心な公園づくりの推進

○誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを強化

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、計画的かつ効果的な施設の補修・改修を実施し、施設の長寿命化を図ることにより、ライフサイクルコストの縮減及び平準化に引き続き努めます。
- ・遊具などの利用案内や巡視・点検を適切に行い、安全管理を徹底します。また、ドローンを活用した橋梁や建築物の点検等、運営・維持管理の効率化を図ります。
- ・再生可能エネルギーの活用、省エネ設備の導入等により、環境負荷の低減を進めます。
- ・園内に残る段差の解消など、多様な人々が、安全・安心かつ不自由なく快適に利用できる施設への改善に向けて、ハード面でのバリアフリー対策を進めます。
- ・ホームページや公園マップ、ガイドマップ、及び案内サインの多言語化、園内でのWi-Fi環境整備やトイレの洋式化を進めるなど、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、近年増加するインバウンドにも対応し、訪日外国人旅行者を含めた誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを継続します。
- ・本公園は広大な敷地を有することから、利便性向上を図るため園内サインの充実を新たに検討します。(施設やエリアのナンバリング、地図の模式化、配布パンフレットとの連動、多言語表記、等)
- ・庄原市の指定緊急避難場所に指定されており、地震等の災害発生時に入園者及び周辺住民の方を受け入れる環境を引き続き維持・向上することで、地域の防災性向上に寄与します。
- ・災害緊急時には、園内のヘリポートを地域用にも活用することで、引き続き地域の防災性の向上に寄与します。

- 広い園内における新たな移動手段やアクティビティについて、導入の可能性を新たに調査検討します。（自走運転バス、MaaS、グリーンスローモビリティ、電動キックボード、等）
- キャッシュレス決済の新たな導入を図ります。（入園料、園内売店・飲食店、備北オートビレッジ、等）
- 園内施設の利用状況やニーズを踏まえながら、再整備、集約・再編、廃止・除去等を検討し、ストックの適正化を新たに検討します。（いこいの森をはじめとする園内の散策路、国兼池に近づくウッドデッキ、さくら展望台、等）
- 公園モニター制度を引き続き活用します。モニターの方からの公園に対する意見や要望等を公園運営に反映することで、公園サービスの向上を図ります。
- 令和7年の開園30周年を見据えて、ポストコロナの時代にふさわしい新たな国営公園の役割・機能を検討します。



【シルバー・障害者等優先の無料園内移動施設】



【国兼池を周遊できるウッドデッキ】



【再整備を検討しているさくら展望台】



## 5) 更なる入園者数増加に向けたイベントの展開

### ○季節に応じた多彩なイベントを継続

- 四季折々に開催している多彩なイベントを引き続き開催し、入園者の多様なニーズに対応する様々なプログラムを提供することにより、更なる入園者数の増加を図ります。
- イベントの更なる魅力向上及び満足度向上のため、野外ライブ等、様々な共催イベントの積極的な誘致に取り組みます。

<p><b>春</b></p>  <p>【春まつり】</p> <p>花の広場では、約280万本の春の花が楽しめます。</p>	<p><b>夏</b></p>  <p>【夏まつり】</p> <p>いこいの森カブトムシドームの中で、沢山のカブトムシと触れ合えます。</p>
<p><b>秋</b></p>  <p>【秋まつり】</p> <p>花の広場のメインエリアでは、約200万本もの様々な品種のコスモスが楽しめます。</p>	<p><b>冬</b></p>  <p>【ウインターイルミネーション】</p> <p>冬の夜空をイルミネーションの光があたたく包み込みます。</p>

### 【四季折々に開催している多彩なイベント】



【大型野外ライブ】



## 6) 積極的な広報展開

### ○効果・効率的な広報の取組を継続

- ・四季折々に開催している多彩なイベントの開催時においては、マスメディアへのタイムリーな情報発信や、チラシ、ポスター、リーフレットの配置・配付を行うとともに、地元自治体や他の観光施設と連携した広報活動を引き続き実施します。また、ホームページに加え、SNS や動画投稿サイトでの積極的な情報発信を実施します。
- ・外国人のニーズを把握するとともに、外国人の視点での情報発信を促進させるため、県内の大学に在学する留学生等に、本公園の利用・体験プログラムを提供し、SNSによる情報発信を促すほか、DMO等と連携し外国人観光客の誘致を促進します。



【SNSによる情報発信】



【マツダスタジアムにおけるPR活動】

### 3. 事業効果

- 1) プログラムの展開による歴史・伝統文化の保存や継承、里山の多様な自然環境の保全の推進を継続することにより、地域独自の社会環境や自然環境の保全に寄与しつづけます。
- 2) 庄原市や地元団体、地域の民間企業などとの連携を促進し、各々の強みを生かした取組を継続・強化していくことで、地域の活力の創出や地域経済の活性化に寄与します。
- 3) 参加型の公園管理の仕組みを継続し、地域の担い手となる人材を育成するとともに、地域づくりにも貢献します。
- 4) 公園施設の安全性の向上を引き続き図るとともに、庄原市等と連携しながら、定期的な防災訓練の実施等による意識啓発を継続することで、備北丘陵公園だけでなく地域の安全機能・防災機能を相乗的に向上させることに寄与します。

なお、本プログラムは、公園を巡る社会情勢の変化等を踏まえ、適宜見直しを行います。